

# 三者連絡会(教授職員会、琉大労組、琉病労組) ニュース 第59号

2012年12月13日

事務局・琉球大学教授職員会(内線 2023)

E-mail [kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp](mailto:kyoshoku@eve.u-ryukyu.ac.jp)

<http://www.cc.u-ryukyu.ac.jp/~kyoshoku/>

琉大労組(内線 2024)

琉病労(内線 7-2099)

## 重大事態発生

## 交渉決裂

昨日12月12日(水)17時30分より、4回目の団体交渉が行われました。交渉は、10日(月)に行われた事務折衝において双方が確認した、退職手当引き下げに焦点化した三者連絡会からの要求書への回答から始まりました。冒頭、三者連絡会が求めた法に定められた手続きの遵守に対しては、何ら瑕疵を認めることなく、一方で「今回の退職手当引き下げが就業規則の不利益変更にあたることは了解している」との説明がありました。しかし、不利益変更に対しての代償措置は示されず、「就業規則の変更の主旨を説明している」と、残念ながら団体交渉の意味が正しく理解されていませんでした。

## 正しい交渉のルールを！

これまでの4回の交渉で、その経緯を双方が確認するために不可欠な議事録についても、本来議事録とは労使双方が内容を確認して、使用者が署名することで成立するものでありながら、この間一貫してこの議事録の作成を拒み、使用者は使用者で、そして労働者は労働者で、「それぞれ議事録を残せばよい」との姿勢を変えることはありませんでした。これに対し、三者連絡会は団体交渉を正常なルールに沿って行い、誠実な交渉を求めべく10日(月)に労働委員会へ斡旋を申請しました。

## 違法行為は断じて許さない！

三者連絡会としては、これ以上の進展が望めず議論の平行線が続けば労使双方にとって不利益と判断し、従来の規則に則って過半数代表者選出投票日の3週間前の公示を念頭に、来年1月中での選出を提案しました。

当局は、7月の給与削減に伴う就業規則変更を届けた労働基準監督署において、労働基準法で定める過半数代表者の選出を今後は適切に行うよう口頭で注意を受けたことを認めています。今回はこれを正して過半数代表者選出の手続きに入りたいとの当局側の要求に応えるべく、三者連絡会は退職手当引き下げの問題と併せて労基法に則った過半数代表選出の手続きを踏むという柔軟な対応を提案しました。ところが西川総務担当理事は、「過半数代表の選出についてはこの機に大学側からも任期制を提案したいが、それでは組合交渉が長引くことは目に見えている。早期に過半数代表を選出して頂きたい」と、まるで組合のせいで手続きが遅れるかのような強弁を繰り返し、自らも認める違法性をもつ現行の過半数代表選出の実施を強硬に求めるばかりか、使用者である当局の示したスケジュールに沿って早期の選出実施を迫るなど、2006年に琉大の労使間で合意された労働協約に背くだけでなく、使用者が候補者の選出に深くかかわることを認めていない労基法を踏みこむ暴挙に出ました。挙げ句の果てに「もう結構です」と、自ら交渉の決裂を宣言したのです。

三者連絡会は、団体交渉の基本的ルールが守られないばかりか、労基法を理解しようとしぬ当局とは、もはや健全な労使関係を築くことはおろか、向き合うことは不可能と判断しました。今後、当局が退職手当の引き下げという大変大きな問題について、一方的にHP上で「意見聴取」を行うとしても、それは誠実交渉を積み重ねた結果ではありません。

このような不幸な状態を一日も早く脱し、国立大学法人琉球大学において、真に自律的・自主的

労使関係を構築し、健全な大学運営が行われるよう、西川理事の解任要求も視野に入れて、岩政学長に強く求めていきます。

三者連絡会は、この問題について、皆さまからのご意見を求めています。

## 2012年 学長候補者による公開討論会 終了

12月11日（火）に行われました、学長候補者による公開討論会が無事に終了致しました。討論会の開催にあたっては、会員の皆さんから候補者のお二人へ多くの質問をお寄せいただき、ありがとうございました。また、当日もフロアから多数の質問があがり、両候補者のお考えがいつそう理解されたことと思います。

両候補ともに、昨今の大学をとりまく状況の厳しさを感じられており、大学運営においてもそれぞれ誠意と熱意をもってあたる所存にあることを強調されていました。その詳細については、三者連絡が記録しました公開討論会の報告書を近日中に教授職員会のウェブサイトへアップする予定です。すでに不在者投票は始まっておりますが、両候補者の所信及び公開質問状への回答と併せて、是非ご覧になってください（詳細は活動日誌 blog で。 <http://ryudai-kyoshoku.blogspot.jp/>）。

三者連絡会は、琉球大学が自主性と自律性を兼ね備えた民主的な運営が健全になされることを強く願います。そして、すべての大学構成員が安心・安全に学び・働ける大学の実現を目指して参ります。

## 12月19日(水)11時、病院検査部・輸血部 パワハラ訴訟 第11回口頭弁論

12月19日（水）病院検査部・輸血部パワハラ訴訟の第11回口頭弁論が11時から那覇地裁にて行われます。学内から発せられた勇気ある声を、たゆむことなく、みんなで応援しましょう！

## 三者連絡会主催 **NO OSPREY!** 講演会

2012年12月21日（金）18:00

琉球大学理系複合棟 102 教室にて

講師：渡嘉敷 健 さん

（琉球大学工学部 准教授・環境工学）

■MV22 オスプレイが沖縄に強行配備されていらい、各地で低空飛行による騒音、危険な低空飛行への抗議の声が上がっています。普天間飛行場から中城湾のポイントへ抜ける飛行経路の真下にある琉大キャンパスでも、上空を低い高度で飛び交う機体がたびたび目撃されています。

■私たち琉球大学の三者連絡会は、この米軍機の「うるさい(◁\_▷)」の専門家、渡嘉敷健さんの講演会を開催いたします。県内の学校、教室で騒音の測定を行い、結果を積み上げ、騒音、低周波の問題を具体的なかたちで訴えてきた専門家です。

■教職員、学生の皆さん、関心を持つ全ての皆様のご来場をお待ちしております。どうぞ、お誘い併せてご参加下さい。